

DOJIN
R18
成年向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

ブルー・ティア イン・マイ・ハンズ (後)

アゲイン #5



長旅お疲れ様です

ようこそ
極東支部へ



ん、出迎え
ご苦労



久しぶりだな
兩宮君

奥方とお子さんも
変わりはないかね？

ええまあ…
お陰様で

あまりフラフラと
ほつき歩いておらんで
たまには家族に
父親らしいところも
見せてやるんだな

うちの娘ときたら
私が忙しさに
かまけているうちに
すっかり親離れして
もう口も利いて
くれんからな…





本部からの
相互渡航禁止命令…
実質的な
封鎖の影響で
極東支部は
じわじわと余裕を
失いつつある



クレイドル隊の活動や
サテライト計画の運営
その他諸々の事業は
極東支部運営局と
そこに属する
企業連合の合同出資で
賄われているが…

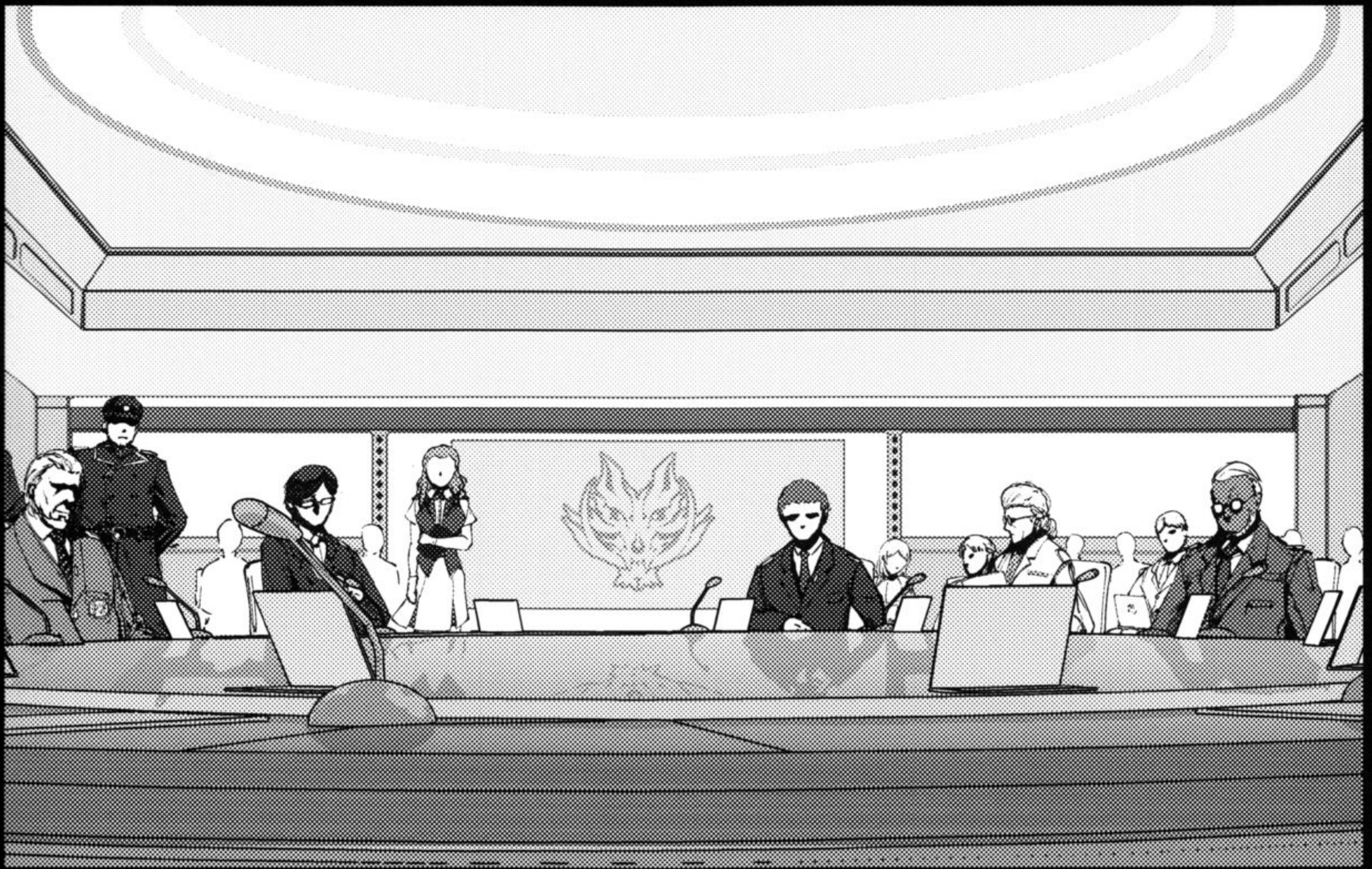


彼は本部に
その身を置きながら
極東の理事会や
企業連合に対しても
大きな影響力を
持っている

彼の出方次第で
我々の進路も
大きく左右されると
言っていていだろう…

つまり

アゲインが正念場、と言っわけだ



アゲイン#5

「ブルー・ティア・イン・マイ・ハンズ(後)」



本計画の総合責任者が
現職の神機使いと
兼任と言う状態も
疑問の余地がある

神機使いの職務は
アラガミの駆逐こそが
最優先事項である

それを僅かにでも
蔑ろにすべきでは
ない



…計画縮小!?
そんな…!

企業も他の支部も
本部の顔色伺って
協力渋るだろうな…

ねえ
お姉ちゃん
あたしたち
もうここに
住めないの…?



極東支部内
来賓用個室

単身で直談判とは
思っていたより
肝が据わっているな

私も君とは
いずれじっくり
話をしたいと
思っていた処だ

—渡航禁止令は
週明けを目処に
順次、解除

細部の調整に関しては
後ほど協議します

次の議題、
サテライト計画について

本計画の
現在状況を監査し
様々な観点から
検討した結論として…

本計画は
停止を前提として
段階的に縮小する

サテライト居住区の
新設は無期限で停止

既設の居住区には
・防衛出勤頻度が多い
・生産性に乏しい
・虚偽の報告を行う…等
問題の多い居住区から順次
住民の退去及び
管理・防衛要員の撤退を進め

放棄または
防衛設備へ転用する

極東地域は慢性的に
対アラガミ激戦状態にあり
その状況を脱する
目処も立っていない

出没するアラガミの
質・量ともに
卓越していることは
事実だが…

充実した戦力
優秀な技術を
保有しておきながら
一向に好転が
見られない事実は
問題視されるべきだ

居住地の急激な
拡充による
防衛範囲の拡大が
戦力の分散を招き

北米や欧州の様な
組織的な大規模駆除計画が
行われず、場当たり的な
対応に終始している事が
原因の一つと考えられる

私一人の方が
何かと遠慮なく
お話ができるかと
思いましたので

単刀直入に
申し上げます

サテライト計画の
縮小について
今一度、再考を
お願い致します

市民に安住の地を
もたらす事も
フェンリルの
重要な使命では
ないでしょうか？

…立派な事を
言う様に
なったものだ

君の意見は
尤もだが
理想論でもある

救えるものと
救えないものの
取捨選択をせねば
ならん事もある

大の虫を生かすために
小の虫の犠牲を
どこまで許容するか

君はその線引きが
まだ出来ない
様だな

君の隊長も
それができない
愚かな男だった

だからこそ
小の虫の一匹として
死んでいったのだ

リーダーを
愚かと言いますか！

私なりの見解を
述べたまでだ

自分の実力に見合
わぬ重荷を背負おうと
する人間は

遅かれ早かれ
自滅するものだ

包囲された
友軍の救援に
一人で向かい

その友軍諸共に
戦死したのでは
無為な死としか
言えんよ

君も同じだ

神機使用と
サテライト計画の
推進……

二つの仕事に追われ
自己管理もままならず

挙句
任務の最中に昏倒する
醜態を晒したそうだな？

……っ！

本来の職務を
果たせない
ばかりか

仲間の足手纏いになる
有様では
君自身にも
厳しい評価を
下さざるを得んな

いいかね？

君への評価は
君の抱える仕事への
評価にも
関わるのだ

サテライト計画には
私の傘下にある企業も
参画している

計画の責任者が
自身の管理不行き届きで
重大な不祥事を起こした
などとあっては

彼らも重大な損害を
被ることはお前でも
想像がつくだろう？

計画の縮小は
私個人の
意向ではない

彼らからの
打診を受けての
ものだ

...

しかし

私個人の意見を
述べるならば

君の信念と
行動力には
統率者としての
資質を感じる

弱き人々のために
身を粉にして働き
信頼を勝ち取るなど
生半可に出来る
ことではないからな

そこで、だ



…パートナー？

そうだ

君はまだ若く
政治的な基盤は脆弱で
駆け引きの経験も浅い



アリサ

私とパートナーを
組まないか？



政治・経済の世界は
闇雲に努力するだけで
成果が得られる様な
ものではないからな

サテライト計画を
守りたいならば
私が君に代わって
理事会や企業を
説き伏せて

計画縮小の方針を
覆すこともできよう

それだけでなく
君の後ろ盾として
私が存在するという
事実が知れ渡れば

フェンリル内外に於いて
君自身が大きな発言力を
得ることになる

つまり



：
貴方への見返りは
何ですか？

無償でそこまで
して下さるなんて
：そんな虫のいい
話ではありませんよね？

：有り難すぎて
不信感すら覚える
お話ですね…



より多くの人々を
君の手で救う事ができる
：と言う事だ

悪い話では
ないと思うがな



サテライト計画
縮小を撤回させる
見返りとして

君と褥を共にする
権利を所望しよう



もちろん
相応の対価を
戴くとも



よくわかって
いるじゃないか

私としても
何かしらの
旨味がなくては

君と組む
意味が
ないからな



これから私と
肉体関係を結べと
いう事だ

「あの頃」と
同じようにな...

お私だ

もう一度
貴方の奴隷に
戻れと
言うのですか！

奴隷とは人間きが悪いな

私はヨハネスのエイジス計画…
実際にはそれを隠れ蓑にした
アーク計画だったわけだが…

あれに提供した私財への
対価の一環として
君の奉仕を受ける権利を
得ていたに過ぎない

今回の話も
それと同じだ

何かを差し出す
代わりに
相応の対価を
要求している
だけのことだ

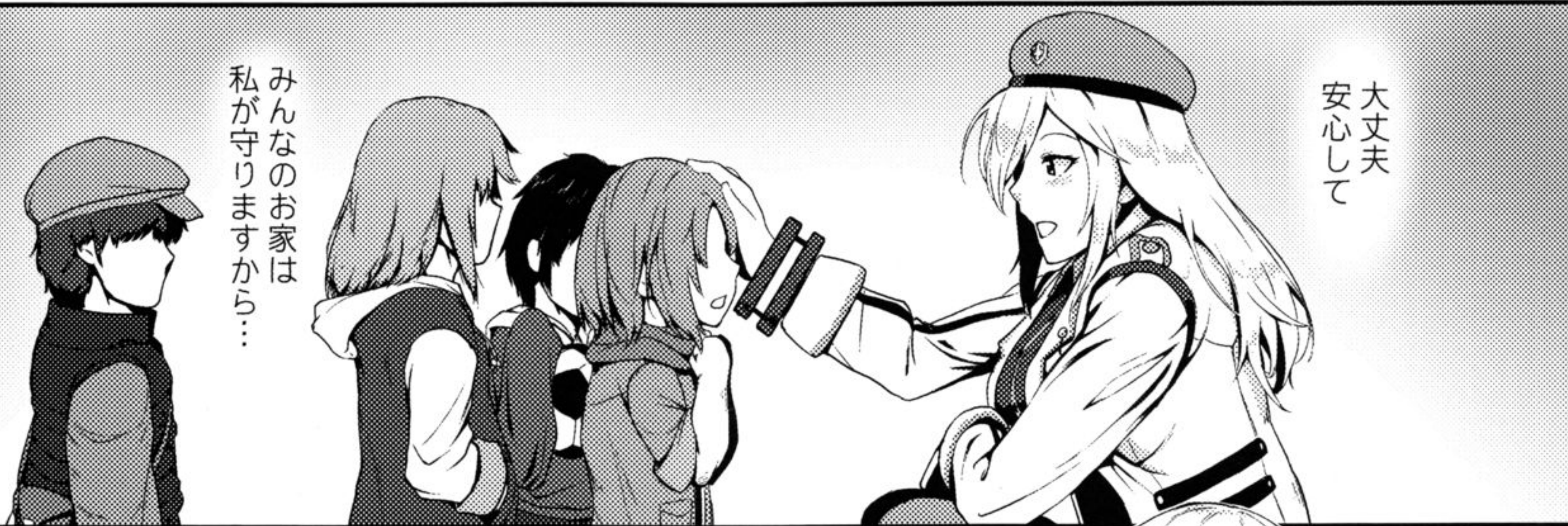
現時点では
君の身ひとつで
支払うことができる
対価なのだから
まだ良心的な提案だと
思うがな

欺瞞を…！

何にせよ
君の選択は
ふたつにひとつだ

「私と共に」
弱き人々を
救うか

提案を拒絶して
彼らを
切り捨てるかだ



大丈夫
安心して

みんなのお家は
私が守りますから…



そうだ
それでいい

君は懸命な
選択をしたよ
アリサ…



…いいでしょう

そちらの提案を
受け入れます

……この人と会う時点で
多少の覚悟は
してたとはいえる……

私は何をやって
いるんでしょ……

ん

いい吸い付きっぷり
じゃないか……
君も乗り気だな？

その調子だ
しつかりと味わって
くれたまえよ……



随分とがつつくな…
そんなにコレが旨いか？

ちゅ

ちゅく

ちゅく



ならばもつと
旨いモノを
味わせてやろう

濃いのを
たっぷりと
出してやる



う

ちゅ

ううう

う…うおお

ううう

ちゅ



さあ、アリサ

身に
着けているものを
脱ぎなさい

お前の今の身体を
もつとよく
見せておくれ

ほう…
これはこれは

…はい

ぱさ

喰らいたくなる程に
美しい肢体よ…



このネックレスは
外さんのだな

…大事なものか？



—む？



—そいつは、まあ
お守りみたいなもんだ



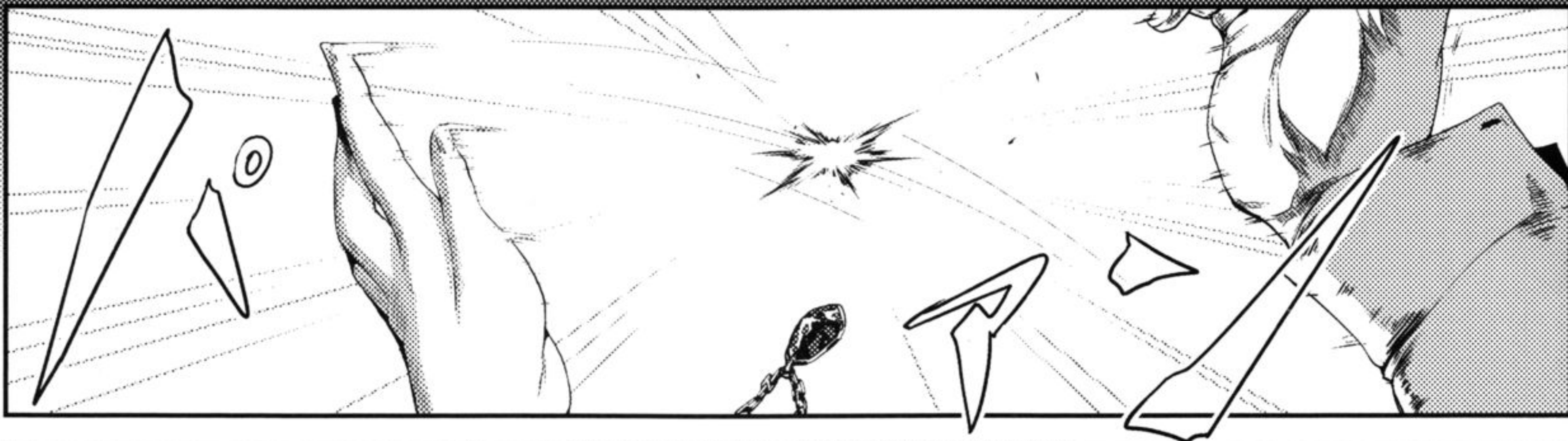
おれの代わりと思って
大事にしてくれよ


リーダーの代わりには
ならないですよ…

—そっか

…

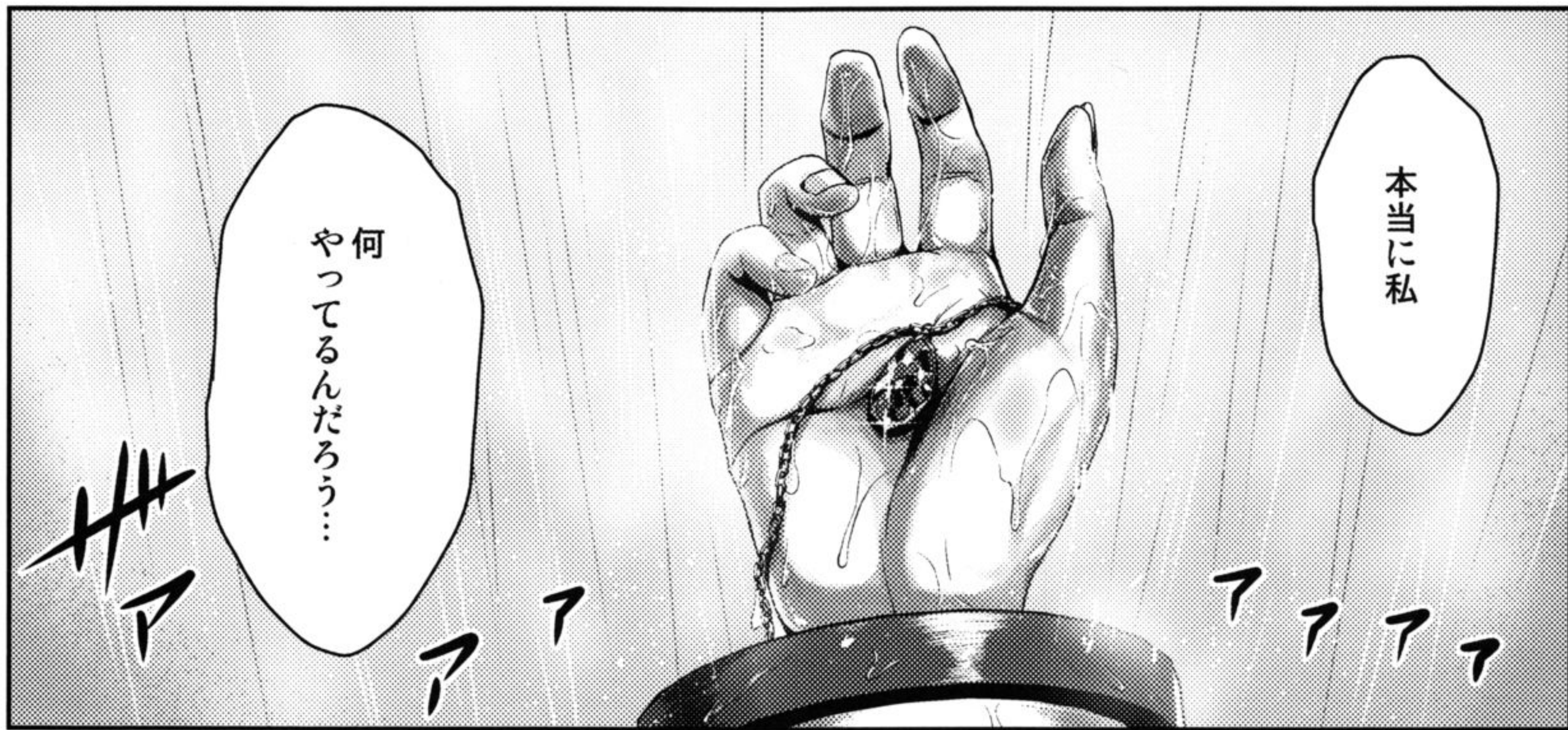
そうだな





私に触れる事は
許しましたが

「私のもの」
には指一本
触れさせません



本当に私

何
や
っ
て
る
ん
だ
ろ
う
…

ア
ア
ア

ア
ア

ア
ア
ア
ア



う
…

う
…
う
…
う
…

う
…
う
…
う
…



説明台詞が多すぎる（挨拶）！！ウチガです。

もう少し簡潔にまとめるかページ増やして尺を取るべきところですがこれが精一杯でした。

前回のラストから今回にかけてアリサが着ている制服は設定資料の2の没バージョンの服を軽くアレンジしたものです。

表紙では上着を脱いでいますが劇中にこの格好を出せたのが前回ラストくらいで表紙詐欺みたいになってしまいました。

アリサの本番シーンも成年向けなら入れなきゃならんかなあと悩みましたが收拾つけられる気がしなかったので止めました。

ぶっちゃけこのシリーズは逐一エロ挟んでると話が進まないというジレンマを抱えつつあります。

今回の話を描いている最中にスマホの新作でアリサが支部長代理になっているらしい事を知りましたがノルマみたいに無理矢理下乳出してる着こなすには思わず苦笑い。

エロパロ描いてる人間がこういう事を物申すのは無粋だと承知の上で書くのですが

デザインはその立場に相応しい身だしなみを考慮した方が良いんじゃないかというのが正直なところ。

衣装違いバージョンとか後々出てくるかもしれないですが。

…反省と愚痴になってしまいました。

秋口あたりから私事の方でなんかもう色々とよくない事が重なりまして…

更に原稿シーズンに利き手の指をケガしてしばらくペン持つのも覚束なかったという精神と物理のダブルパンチを食らいまして。

嫌なことが重なると気力超下がりますね。

後ろ向きな事書いてばかりもアレなのでゲームの事でも。

この1年はずっとブラッドボーンやってました。血晶石マラソン楽しいです（白目）。

来年は積んでたダークソウル3消化しつつアサシンクリードオリジンに手をつけたい。

ゼノブレイド2も気になってるんでSwitch手に入れられたら遊びたいですね。

とか言ったらスパロボの新作も気になってきました。

このうち何本クリアできるのか…

それでは、次刊でもお会いできれば幸いです。

2017年12月 ウチガ



奥付

「アゲイン# 5 ブルー・ティアー・イン・マイ・ハンズ（後）」

2017年12月31日 初版発行

著者：ウチガ

発行：Lithium

印刷：緑陽社様

Pixiv：<http://www.pixiv.net/member.php?id=209542>

WEB：<http://lithiumia.web.fc2.com>

Attention!!

- ・本書は成年向け同人誌です。未成年者の購読／所持及び、未成年者への販売／譲渡を固く禁止します
- ・本書の内容を無断で転載・改竄する行為を禁止します
- ・本書を始めとする、当サークルの頒布物をWEB上に無断でアップロードする行為を固く禁じます。



あの反応…
「奴」に
感化されたか？

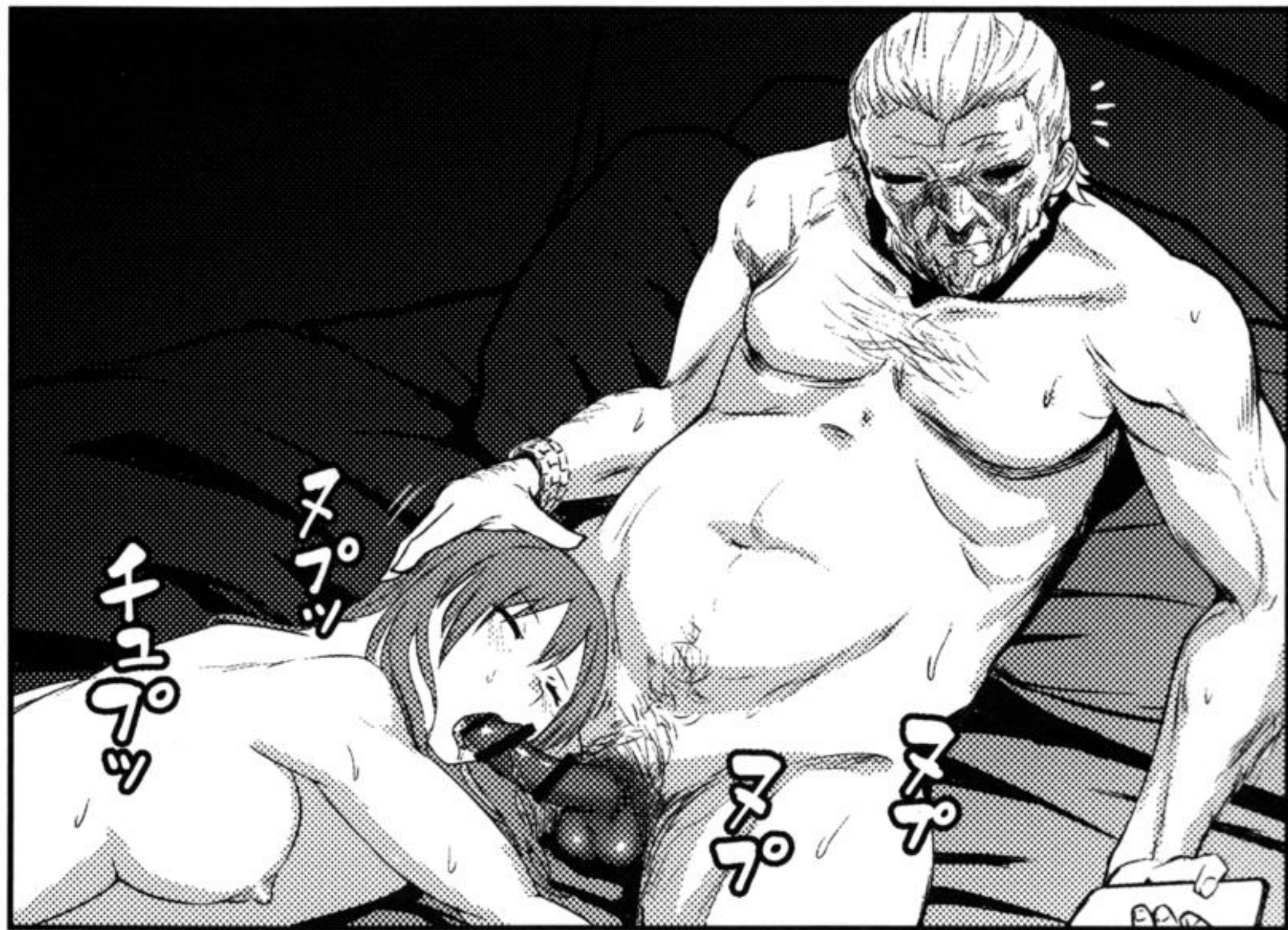


…アリスめ



手懐け直すには
もう一手間
必要になるか

奴も面倒を
遣してくれたものだ
…ッ





まさか奴は

本当に
不死身だとも
言うのか…!?



次巻

「# 6 フォロー・ザ・デッドマンズ・トレイル」



Lithium
2017 WINTER

FOR ADULT ONLY